



めぐろ 区議会だより

2026年4月24日号 No.287

発行／目黒区議会事務局
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15
☎03-5722-9415
FAX 03-5722-9335
🌐<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kusei/kugikai/index.html>



自然宿泊体験教室の
費用負担軽減



小・中学校の
新校舎整備等

令和8年度予算案を 可決しました



予算案の議決の様子



安全・安心な生活を守る
防災対策(非常用トイレ)

区内全域の
路上喫煙禁止



喫煙所の整備・拡充

令和8年第1回定例会

2月17日から3月23日までの35日間の日程で開催しました。

- 開会初日に、区政を取り巻く状況認識と令和8年度の区政運営について区長が所信表明を行いました。 3面
- 区長の所信表明を受けて、各会派の議員5人が、代表質問を行いました。 4・5面
- 区政の課題について、9人の議員が一般質問を行いました。 2面
- 予算の審議に当たり、予算特別委員会(岩崎ふみひろ委員長、高島なおこ副委員長)を設置し、令和8年度予算案について7日間にわたり審査しました。 7面
- 予算特別委員会開催中の3月10日(東京都平和の日/東京空襲)、11日(東日本大震災)に出席者全員で黙とうをささげました。 8面
- 区長提出議案37件、議員提出議案1件を審議し、全て原案どおり可決しました。
- 陳情は審議の結果、1件を採択、7件を不採択、3件の撤回を承認したほか、14件を継続審査としました。

区議会だより
発行月

4月

7月

10月

1月

次の発行は、令和8年7月31日の予定です

予算特別委員会 ～令和8年度一般会計予算案に対する討論要旨～

予算特別委員会では、議長を除く31人の議員が、令和8年度予算案について7日間にわたり慎重に審査しました。

インターネット議会中継のウェブサイトから令和8年予算特別委員会の様子が視聴できます。また、委員長報告と討論、議決の様子も視聴できます。

インターネット議会中継▶



●2月24日 委員長・副委員長の互選

岩崎ふみひろ委員長、高島なおこ副委員長が選出されました。

●3月9日～17日 議案審査

会計ごとに質疑を行い、審査しました。()は議案番号

一般会計(第22号)／国民健康保険特別会計(第23号)／後期高齢者医療特別会計(第24号)／介護保険特別会計(第25号)

●3月23日 委員長報告、討論、議決 (議決結果は7面)

本会議で岩崎ふみひろ委員長が予算特別委員会の審査経過と結果を報告し、各党派等の代表が、賛成・反対の立場で討論を行いました。その後、採決が行われ、令和8年度当初予算案が可決、成立しました。



高島 なおこ 副委員長 岩崎 ふみひろ 委員長

反対

過去最大予算でも暮らし支援が弱い予算案

日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員

過去最大の予算規模、区税収入見込みである。一方、物価高騰が長期化し、実質賃金も伸び悩む中で、区民生活は厳しさを増している。本予算案は、暮らしを直接支える支援が弱い。区は、区有施設更新に巨額の財源が必要だとしながら、再開発には多額の公費を投入している。国保料の負担軽減、シルバーパス補助、難聴者補聴器助成に踏

み出さず、生活保護追加給付も十分届く仕組みになっていない。さらに、特養整備や介護人材への直接支援、障害福祉基盤の強化、子どもの体験格差是正、給付型奨学金、不登校支援、スクールカウンセラー体制の強化も不十分である。平和都市宣言区として、自治体予算を脅かす国の軍事費拡大に物を言う姿勢も欠けている。

賛成

「心地よい」と感じられる目黒区を未来にも、将来世代にも。

立憲民主・目黒フォーラム 橋本 しょうへい 議員

今年は不安定な世界を象徴するスタートとなった。来年、区長も変わることから、区も大きな変化を迎える。私たちは予算要望や今定例会で、今の心地よさだけでなく、区の未来や将来世代に何を残すかも重視してきた。定例会冒頭に区長は「目黒区基本構想に示されたまちの将来像を実感いただけるよう、最後までベストを尽くす」

とのこと。財政基盤の確立や施策の選択と集中が重要との発言もあった。試行実施事業や終期設定事業の設定は評価するが、件数や総額は多くない。財政危機やリーマンショックも乗り越えた区長だからこそ、最後の予算編成で既存の事業の見直しもしっかり行い、区がずっと「心地よいまち」であり続ける礎を築いてほしい。

賛成

持続可能な財政運営の実現で、青木区長ラストイヤーの集大成を

自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

本予算は過去最大規模となる一方、ふるさと納税による税収流出や社会経済情勢の不確実性により、持続可能な財政運営にはなお課題が残る。サンセット方式の導入は評価するが、事業の不断の見直しと公共施設の跡地活用を図るなど財源確保に努めること。また、昨年豪雨被害を踏まえた地域防災力の強化、防災カタログの活用

による自助意識の向上、DX推進、子ども・福祉施策の充実、都市基盤整備や教育環境の改善等、各分野における着実な施策展開を求める。旅館業法改正は生活環境の確保を最優先し、ポイ捨て防止条例は実効性の確保を求める。区長任期の最終年度は将来課題について責任ある対応を求め、我が会派は引き続き是々非々の姿勢で区政運営に臨む。

賛成

安全に重きを置いた予算編成に評価！立つ鳥跡を濁さずの1年を！

上田 みのり 議員

目黒川の桜が美しく散っていくように「さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ」を美しく継承するために、命・暮らし・絆・未来を守るための、防災、健康と福祉、子ども施策、まち

づくり、そして、区有施設見直し方針・見直し計画と付随する活動団体の在り方を示し、強い責任と覚悟を持った6期集大成の行財政運営を要望する。

賛成

持続可能な区政改革に道筋をつけ、次期区長にバトンを！

めぐろの未来をつくる会(無所属・国民・維新) 松田 哲也 議員

7,500億円もの施設更新費等で、毎年100億円の歳出削減が必要だが、過去最大の身の丈を超える予算となった。新たな期間設定方式も、新規事業限定で、2033年の借金と基金の逆転は不可避で次世代の負担は増すばかりだ。リーマンショック後に、緊急財政対策と経済対策の均衡を図った際の、削減基準の差も省察し、既存事業やイン

フラ見直しに、一刻も早く着手すべきだ。同時に経営資源、とりわけ人材の最適化やDX化、災害時の備え、避難所トイレ、ペット防災も必要だ。若者施策、共同親権、住区活動、国勢調査の負担、学童待機、ベビーシッター、給食、不登校等、それぞれ大きな課題解消の取り組みも求める。そして次期区長に託すことを期待し賛成する。

賛成

積極財政で「誰もが生きてて良かった」と思えるめぐろの実現を

こいで まあり 議員

税収等の増を区民に還元しつつ86億の財政調整基金を取り崩しての積極財政、サンセット事業など期限を定めた事業の開始、DV相談支援センター開設や体験格差をなくす自然宿泊体験

教室の保護者負担軽減、障害者雇用を促進するオフィス・サポートセンター設置などを評価し、生きてて良かったと思えるめぐろの実現を期待する。

賛成

先行き不透明な時代に。大事なことは平和への行動と持続可能性

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

イスラエルと米国によるイランへの攻撃は、人道的に許せない行為である。力による現状変更は次なる紛争の種となるだけで、正義ではない。対話を基調とした平和外交が、最善の道である。区の予算は過去最大規模だが、それを上回る建設費の高騰や物価高の影響、さらに緊迫したイラン情勢の動向を注視し、適切な対応を求める。

今後の区有施設の在り方について、社会状況の変化や財政的課題に対応した最適な更新を図るため、真に必要な行政機能を残し、極力無駄を省いた方向に、舵を切る決断も必要と考える。来年度は区長任期最終年度となるが、現下の危機を乗り越えるため、経験則を生かしながら、最後まで全力投球することを要望し、予算に賛成する。

賛成

子どもの権利を社会全体で共有するまち、めぐろへ！

増茂 しのぶ 議員

子どもの学びは学校の内外にあり、一人ひとりに応じた形があって良い。居場所づくりとともに多様な学びを保障せよ。避難所環境は女性の意見で改善され

る。運営検討に女性参画を進めよ。戦争の絶えない今、目黒の平和都市宣言を、平和憲法を擁護する大切なメッセージとして生かせ。

代表質問と答弁

～各議員のコードから動画が視聴できます～

2月17日



区長最後の1年 未来に続く区政運営を

自由民主党目黒区議団・区民の会 西村 ちほ 議員



持続可能な行財政運営

問 一般会計の予算案規模は1,620億円超に達し、歳出と各種事業は年々膨れ上がっている。事業の固定化や経費の肥大化の抑制にどう取り組むか。

区長 本年度予算から「期間設定方式」を導入し、事業の見直し時期や終了時期をあらかじめ設定する。これまで以上に成果を意識した効率的な事業運営を行うとともに、事業の固定化や経費の肥大化を抑制し、「未来を見据えた持続可能な行財政運営」を実現していく。

安定した学習環境の確保

問 区は学校施設の建て替え更新を計画的に進めているが、工事費の高騰や入札不調によるスケジュール遅延が深

刻な課題となっている。子どもの安定した学習環境を確保するための方策を問う。

教育長 区長部局と連携し、新校舎の設計や仮校舎の計画を工夫するとともに、建築単価の見直しなどの対策を講じる。

区長ラストイヤーの区政運営

問 区長は任期3年で辞職し、再出馬はしないと明言している。令和8年度は6期務めてきた最後の1年になるが、積み残した課題をどう整理し、次の代に引き継ぐつもりか問う。

区長 課題を先送りすることなく、公約を実現しながら、区が掲げる将来像の実現に向け、最後まで全力で区政運営に当たる。



区長の決意を問う！ 区立中学校在籍率向上の取り組みを

めぐろの未来をつくる会 (無所属・国民・維新) 吉野 正人 議員



区政運営の基本姿勢と重要課題

問 区長ラストイヤーの決意を問う。

区長 公約の実現、行財政運営方針・実施計画を着実に進め、公共施設整備の考え方を整理する。

めぐろ学校教育プラン

問 めぐろ学校教育プランはどこに重点を置いて改定していくのか問う。

教育長 学習指導要領改訂への対応、多様な子どもたちの深い学びを確かなものにしていくことに重点を置く。

学校運営協議会の設置校拡大

問 先行実施校3校の現状と検証について問う。

教育長 意見交換や地域連携が進み、取り組みは概ね順調である。成果と課題を整理しながら、設置校の段階的な

拡大を進め、効果的な運営を目指す。

問 地域の連携がうまくできていない学校への対応を問う。

教育長 学校運営協議会の設置を契機に保護者・地域との連携を進める。

公教育としての区立中学校

問 在籍率低下への見解と今後の区立中学校に必要な施策、地域を生かした学校づくりの方向性を問う。

教育長 私立志向の高まりなどが要因と考えられる。授業改善をはじめ、英語力育成、部活動環境の構築などにより、区立中学校の強みと魅力の向上に取り組む。また、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを進め、地域との連携による特色ある学校づくりを推進していく。

用語解説

- *1 次世代太陽電池 軽量で曲げられるなどの特徴を持つ新しい太陽電池。建物の窓や壁にも設置しやすいタイプが開発されている。
- *2 4ない窓口 目黒区では「行かない、書かない、待たない、迷わない」窓口を目指している。時間や場所に関係なく、いつでもどこでも区の手続きや相談ができること、窓口での手続きが1カ所で短時間に完了できることを達成するための取り組みとして進めている。
- *3 サップ(SUP) Stand Up Paddleboardの略。大きなボードの上に乗ってパドルを使い、水面を進むアクティビティ。

2月18日



区民の安全・安心に 未来を見据えた財政運営を！

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員



令和8年度区政運営

問 区有施設更新に財源不足が想定される。ニーズの変化や、トータルコストを示し、区民への丁寧な説明を求める。

区長 公共施設等マネジメント推進に向けた基本的な考え方を公表し、区民参画の機会を設けた。これらの意見を踏まえるとともに、説明会などで丁寧な説明に努め、合意形成を図る。

問 都の財政支援を活用した私立学校児童・生徒給食費補助制度の創設を問う。

区長 限られた財源の中では、まず区立小・中学校への助成が優先である。今後の調査研究課題とする。

災害支援対策

問 昨年2度の豪雨災害で災害ボランティア派遣が行われなかった理由を問う。

区長 派遣要望がなかったためであるが、対策を講じる必要がある。

問 災害発生に備え、地域避難所へ次世代太陽電池(*1)の設置の考えはあるか。

区長 大規模な設備は困難だが、学校施設改築時に導入を予定している。施設整備と運用の両面で備えを強化する。

平和の礎をつくる

問 区長の所信表明に、平和と人権・多様性の尊重とある。世界では紛争が続き、日本は唯一の被爆国としての使命がある。平和への思いが風化する中、区としての具体的な行動を問う。

区長 広島派遣事業、平和映画の上映、灯籠作り、原爆被害等を疑似体験できるVRゴーグル体験会など、平和記念事業を充実・拡大させている。



輝く人財！これからの目黒区 共に生きる目黒へ！

立憲民主・目黒フォーラム 金井 ひろし 議員



働きやすい職場と、窓口混雑解消へ

問 マイナンバーカードの窓口は待ち時間が長く、区民の負担となっている。混雑緩和に向けた取り組みを問う。

区長 来年度は4ない窓口(*2)の取り組みをDXの重要テーマの1つに掲げ、全庁を挙げて取り組みを加速していく。

問 名刺は職員が自費で作成している。一般企業では会社負担が通常だが、区としての考えを問う。

区長 財政負担、作成ルール、デザイン統一によるPR効果も考慮しつつ職務上使用する名刺の在り方を検討する。

子どもたちの多様な学びの取り組みを

問 インクルーシブ教育について新教育長の認識を問う。

教育長 子どもの最善の利益を目指し

て、一人一人の教育的ニーズに対応できるシステム構築のため、取り組みを進めていく。

問 体験学習について興津自然学園で「地引網」を取り入れてはどうか。

教育長 自然宿泊体験教室では磯観察やサップ(*3)体験など、体験先の特色を生かした活動を実施している。今後のプログラム開発の参考とする。

障害があってもなくても、医療的ケアが必要でも、「共に生きる」目黒へ。

高校卒業後の居場所の拡充を

問 本区から始まった、日中一時支援の拡充について区の見解を問う。

区長 都が新たに検討している補助事業を見据え、利用時間外活動支援事業のさらなる拡充を図っていく。



平和と暮らし守る区政を

日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員



軍事費拡大と区の姿勢

問 軍事費が急拡大している。税や社会保障を通じ区民生活に影響する問題だ。平和都市宣言区として国に是正を求めるべきと考えるが見解を問う。

区長 防衛費への見解は差し控えるが、平和を施策の根底に据え、平和記念事業や物価高騰対策などを通じて、区民の暮らしと平和を守っていく。

補聴器助成の対象を広げよ

問 補聴器助成の対象拡大や助成増額を検討すべきではないか。

区長 補聴器の価格上昇を踏まえ、助成増額を予定している。対象要件の拡大はさらなる財政負担につながるため、新たな対象者を検討する状況にはない。

生活保護と命の保障

問 最高裁が保護費の国の基準引き下げを違法とした。判決をどう受け止めるのか。猛暑下の光熱費負担軽減を検討すべきではないか。

区長 国が決めた追加給付の支給を速やかに行うものと認識している。光熱費の夏季加算の創設を国に要望している。

問 DV対策と児童虐待の防止対策の連携強化について問う。

区長 DVと児童虐待を一体的に捉え、既存の連携体制を生かし、関係者が分野横断的に連携して対応していく。

問 同性カップルなどが家族として尊重されるよう、パートナーシップ制度を。

区長 平和と人権・多様性の尊重を施策の根底に置き、制度導入を含めた性の多様性の尊重を着実に進めていく。

一般質問と答弁

～各議員のコードから動画が視聴できます～

2月19日



地域で育てる目黒の子ども 教育と遊び場の環境を前進へ



自由民主党目黒区議団・区民の会 高島 なおこ 議員

公園でのボール遊びと花火

問 ボール遊びのルールと、ランランひろばや学校ひろばも含め遊べる場の周知を。

区長 ボール遊びのできる公園やルールを分かりやすく周知していく。

問 花火を行える時間帯や実施場所を限定して検討する考えはあるか。

区長 実態把握が必要なため、夏の試行実施に向け、検討を進める。

幼児教育の充実を

問 幼児期の教育・保育の重要性に関する区の基本認識を問う。

教育長 人格形成の基礎が培われる重要な時期である。幼児教育の質の向上と環境整備に一層取り組む。

問 幼稚園と保育園など異なる施設間での教育の質の一体的向上、小学校との円滑な接続に向けた取り組みを問う。

教育長 区長部局と協力し、計画的な交流と協議の場を設けていく。

コミュニティ・スクールの評価と展望

問 区民への周知と評価の仕組みは。

教育長 保護者や地域に評価される取り組みが必要である。好事例を積極的に発信しながら、支援していく。



社保のカベからミゾ! スマホのパス! 古事記から世界!



めぐろの未来をつくる会 (無所属・国民・維新) 松田 哲也 議員

医療保険の持続可能性

問 被用者保険(いわゆる社保)と国民健康保険と後期高齢者医療の加入割合は。

区長 国保16.9%、後期11.4%、生活保護等を除き、他は被用者保険である。

問 持続可能性には、応能負担など公平性と周知が必須では。

区長 制度や財政状況を周知し、負担能力に応じた納付意欲の向上に努める。

問 年収のカベと、年金と医療のミゾの認識も必要では。

区長 年金と医療保険の取り扱いに違いはないが、収入や労働時間等により、やむなく地域保険へ加入するかたもいる。国民皆保険制度維持のため、総合

的な取り組みが肝要である。

デジタル終活

問 デジタル遺品(*1)やレアアースの課題、買い替え時のスマホの回収促進の状況を問う。

区長 講座や啓発を通して、デジタル遺品整理等を学ぶ機会を提供している。

問 終活等相談ポータルサイトを開設しては。

区長 先行自治体や国の動向を注視し、関係機関と連携した支援を検討する。

古事記・中国古典・ギリシャ神話

問 文化や世界観がつながる学習をより深めていくべきではないか。

教育長 総合的な学習等を通じ、興味に応じ学びを広げられるよう支援する。



高次脳機能障害者支援 誰もが通いたくなる学校へ!



公明党目黒区議団 はま よう子 議員

高次脳機能障害の実態調査

問 都と同様の調査が困難でも、事業者との連携を強化し、区内ニーズを把握して当事者・家族に寄り添う施策につなげていただきたいが区の考えは。

区長 実態把握は都が医療機関を通じて実施すべきと考える。また区職員や区民への理解促進に取り組む。

民間事業者と連携した

個別教育支援計画のICT活用

問 児童・生徒一人一人に合った個別教育支援計画(*2)の推進や学校格差の

解消、教員負担軽減に向け、民間と連携したICT活用を試行的に始めるべきではないか。

教育長 区では国が必須としていない部分も含め、個別指導計画の作成を広く行っている。今後も研修等を通じて教職員の意識醸成を図る。ICTツールの活用については、技術面、維持管理経費、運用上の課題、負担軽減と指導内容の質の両立などの課題があるため、調査研究を継続する。現場や保護者の声を踏まえ、より良い形を検討する。



災害時の受援体制強化と 教育環境の充実



立憲民主・目黒フォーラム 後藤 さちこ 議員

災害時の受援体制整備

問 災害対策基本法改正と能登半島地震の教訓を踏まえ、外部団体との事前連携と実効性ある運用体制を問う。

区長 受援・応援計画を見直しつつ、業務継続計画の改定と合わせて体制を整えていく。

問 受援体制の具体化を求める。

区長 先行事例を参考に、災害ボランティアの協力体制を構築していく。

特別支援教育支援員の処遇改善

問 支援員の処遇改善と制度の再設計を問う。

教育長 謝礼体系を含め制度の見直しの必要性について調査研究する。

中学生への性教育の充実

問 発達段階に応じた継続実施と教材内容・授業時間確保の見直しを問う。

教育長 都助産師会と連携し、教材や指導方法、学習内容の改善を進める。

読書は生きる力の土台

子どもがいつでも本に出会える環境へ

問 学校図書館体制の強化と子どもの読書環境の保障を問う。

教育長 授業中や休み時間も含め、児童・生徒が利用したいときに利用できるよう図書館を開放し、朝の読書活動や読み聞かせ等に加え、各校の特色を生かした1校1取り組みを進める。

問 学びの基盤としての充実を求める。

教育長 学校図書館が探究心を育む拠点となるよう、学校と連携し支援する。

令和8年度第1回定例会の代表質問、
一般質問の様子は、

インターネット議会中継・
録画をご覧ください



目黒区議会 議会中継

検索



スマートフォンはこちらから▶

用語解説

*1 デジタル遺品 亡くなったかたがスマートフォンやインターネット上に残したデータやアカウントのこと。パスワード管理や手続きの難しさなどが課題となっており、トラブル防止のための備えが重要とされている。

*2 個別教育支援計画 障害のある児童・生徒の教育的ニーズに応じ、学習や生活面での支援内容を整理した計画。学校、家庭、関係機関が連携し、継続的な支援を行うために作成される。

2月20日



温暖化止める対策を 外遊び支援、学校トイレ同数に



日本共産党目黒区議団 齊藤 優子 議員

地球温暖化を止める対策

問 地域エネルギー会社設立について伺う。

区長 2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた施策を着実に進め、メリットや課題を踏まえて調査研究する。

学校の断熱の重要性

問 窓の遮熱対策について伺う。

区長 学校と協議しながら、ひさしやグリーンカーテンなど方策を検討する。

問 屋上の外断熱について伺う。

区長 建物や施設運営の状況に応じ、引き続き効果的な改修を検討する。

外遊びを提供する団体との連携

問 都補助金を活用し外遊び場を継続的に提供できるよう団体と連携せよ。

区長 現段階では、都の補助金を活用する考えはない。

問 子育て部局と連携し区民と共に事業を支援し発展させることについて伺う。

区長 現時点で意見交換は行わない。

学校の男女トイレを同数に

問 下目黒小学校のトイレを男女同数に設計することについて伺う。

区長 国の動向等を注視し、実情に即した整備の在り方を検討する。

問 既存小・中学校のトイレ格差を伺う。

教育長 学校から改善要望はなく、格差が激しい学校はない。

問 公衆便所等にサニタリーボックスを。

区長 ごみ放置の懸念などを総合的に判断し、現段階では設置しない。



命を守るための広域避難場所 保育士確保の支援は生命線



自由民主党目黒区議団・区民の会 岸 大介 議員

問 避難行動を取る際、その状況によって取るべき行動は異なる。どのように行動し、どこで安全を確保するかの判断指針は不明瞭である。広域避難場所に避難しなければいけないケースと、地域避難所との関係を伺う。

区長 火災などの危険が及ぶ場合には、広域避難場所へ一時的に避難し、安全が確認され次第、備蓄や生活支援機能を備えた地域避難所等へ移動する。

問 防災行動マニュアルの刷新を求める。

区長 来年度の改定を機に、イラスト

や図解を用いて分かりやすく改善する。

問 保育士確保のための国の宿舍借り上げ支援事業は、保育の生命線である。区の今後の取り組みと事業継続を伺う。より使いやすい制度改正を国・都へ求められたい。

区長 当事業は国が見直した補助額を都が補填している。区も上乗せ補助を行っているが、補助内容が見直されると人材流出の懸念がある。今後も特別区の区長会や課長会等を通じ、制度の継続と充実を働きかけていく。



イキイキとした学校生活と 子どもたちの安全のために！



めぐろの未来をつくる会 (無所属・国民・維新) 上田 あや 議員

学校風土の把握と

学校評価の改善に向けて

問 学校風土調査のフィードバック方法および学校評価アンケートの実施方法について、改善の方向性と具体的取り組みをどのように図るのか伺う。

教育長 風土調査の結果は、学習用端末で確認でき、個人面談でも共有している。学校評価アンケートは、公表方法やコミュニティ・スクールの評価、特色ある活動に関する項目を含め、来

年度に向けて総合的に検討していく。

日本版DBSの施行に向けて

問 日本版DBS(*3)については義務対象だけでなく認定制度もあることから、本年の施行に向けた区長部局・教育委員会・区全体の取り組みについて伺う。

区長 子ども条例に基づき、従前から必要な対策を行ってきた。法の趣旨を踏まえ、鋭意取り組みを進める。

教育長 区長部局や関係機関と連携し、安全確保措置の構築に取り組む。

用語解説

*3 日本版DBS イギリスのDisclosure and Barring Serviceを参考に、子ども性暴力防止法(令和8年12月25日施行)に基づき、教員等による児童対象性暴力を未然に防ぐため、学校設置者等に犯罪事実の確認を義務付ける制度。確認義務のある学校設置者等のほか、学童クラブや学習塾等も国の認定を受け、採用時や異動時に確認が行える。

*4 アフォードブル住宅 子育て世帯などが安心して住めるよう市場価格より約2割抑えた家賃で供給する賃貸住宅。都と民間企業が出資する官民連携ファンドや空き家などを活用することで、家賃を抑えている。



青木区政ラストイヤーは 「住み続けたい目黒」の実現を



公明党目黒区議団 川原 のぶあき 議員

住み続けられるまちへ住政策の転換を

問 国公有地を活用した大規模再整備の際には、安価な家賃の賃貸住宅を整備できるよう政策誘導すべきと考えるが、見解を伺う。

区長 安価な賃貸の条件付けは事業者の採算性に大きな影響を与えるため、個別事業の要件とするのは困難である。住宅政策の中で全体を捉えて考える。

問 都は、来年度から容積率を緩和する代わりに、一部の部屋を市場相場よ

り約2割程度安い家賃の賃貸住宅に設定させる新制度を導入する。区でも民間企業等が、安価な賃貸住宅の整備に取り組めるよう、具体的な促進策を検討する考えはあるか。

区長 区では空き家・空き室などが限られており、アフォードブル住宅(*4)の一環として、家賃助成も行っている。財源と幅広い支援とのバランスを考慮し、他区や都の取り組み状況も注視しながら調査研究する。



国際交流による次世代育成と 学校の良い関係づくり



自由民主党目黒区議団・区民の会 田島 けんじ 議員

国際社会を担う子どもたちの育成

問 目黒区・北京市東城区・ソウル特別市中浪区との三区間交流事業に教育委員会が積極的に関わり、子どもたちの教育に生かすべきと考えるが、見解を伺う。

教育長 子どもたちが豊かな国際感覚を身に付けられるよう、企画段階から区長部局と連携するとともに、学習用端末や保護者連絡システム等を活用して本事業の意義を周知する。

カスタマー・ハラスメントの防止

問 学校と保護者・地域が良好な関係を築くため、都のガイドラインも踏まえ、独自のガイドラインを作成すべきと考えるが、見解を伺う。

教育長 家庭と信頼関係を築きながら教育活動を進めるとともに、法律相談の運用改善や組織的支援体制の充実を図り、区独自のガイドラインの作成についても検討を進める。

本会議や委員会は傍聴できます



令和8年第2回定例会の予定



会期: 6/17~6/30

日	月	火	水	木	金	土
6/14	6/15	6/16	6/17 議会運営 本会議 (一般質問)	6/18 本会議 (一般質問)	6/19 議会運営 本会議 (議案付託)	6/20
6/21	6/22 企画総務 生活福祉 都市環境 文教・子ども	6/23 企画総務 生活福祉 都市環境 文教・子ども	6/24	6/25	6/26	6/27
6/28	6/29	6/30 議会運営 本会議 (議案議決)				

◎: 委員会
●: ライブ中継



▲議会中継

▲傍聴

◎本会議は午後1時、委員会は午前10時に開会予定です。詳しくはウェブサイトでご確認ください。

●傍聴は、当日、目黒区総合庁舎本館5階の区議会事務局で受け付けています。

◎本会議は、インターネットでライブ中継●を行っています。

◎録画映像は、ライブ中継後、およそ1週間後から視聴できます。

委員会の主な議題（令和8年1月～令和8年3月）



会議録検索システム
本会議や委員会の会議録は閲覧・検索できます。

常任委員会

議案と陳情の議決結果と各会派の賛否 **7面** **8面**

◆ 企画総務委員会

- 1月14日(水)
 - 事故の発生及び処理結果
 - 配偶者暴力相談支援センター機能の整備
 - 契約報告(8件)
 - 目黒区登録業者の指名停止措置
- 2月10日(火)
 - 令和8年度組織改正
 - 職員の懲戒処分
 - 通知電子化の試行実施
 - 令和8年新年のつどいの実施結果
 - 訴訟事件の発生
 - 地方公共団体情報システム標準化の実施時期
 - 契約報告(7件)
 - 目黒区国民保護計画の変更案

- 2月25日(水)
 - 議案審査
 - 目黒南中学校・目黒西中学校新校舎建設工事の入札結果と今後の対応
 - 目黒区新型インフルエンザ等対策行動計画(改定素案)
 - 災害対策(帰宅困難者対策)としての循環型トイレの整備
 - 令和8年度都区財政調整方針
 - 令和7年度都区財政調整再調整方針
 - 地方自治法改正に伴う情報セキュリティ基本方針の改正
 - 目黒区障害者活躍推進計画(令和8年度～令和12年度)の策定
 - 政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する調査の結果
 - 目黒区地域防災計画(令和8年修正)

- 避難所における子どもの心のケアを目的としたおもちゃの寄贈
- 「災害時の応急物資の確保・供給に関する協定」の締結
- 風水害時における危機管理体制見直しの方向性
- 令和8年2月8日執行衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の結果
- 2月26日(木)
 - 陳情審査
- 2月27日(金)
 - 議案審査
- 3月23日(月)
 - 陳情審査
- 3月25日(水)
 - 【視察】目黒区総合庁舎

◆ 生活福祉委員会

- 1月14日(水)
 - 定額減税補給付金(不足額給付)の実施結果
 - 物価高騰対策支援電子ポイント等配布事業の実施
 - 第62回目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル2025)の実施結果
 - 令和7年度目黒区スポーツ表彰
 - 地域福祉保健医療計画の策定に向けた調査の実施結果
- 2月10日(火)
 - 令和8年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果等
 - めぐる中小企業省力化投資補助金
 - 気仙沼交流フェアの実施
 - 「オクトーバー・ランアンドウォーク」の参加結果
 - RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種事業

- 令和8年度予防接種事業
- 産後ケア事業の拡充
- 2月25日(水)
 - 議案審査
 - 令和8年第1回臨海部広域斎場組合議会定例会における議決結果等
 - 特別区市民葬儀における新たな助成制度等
 - 令和8年度国民健康保険事業
 - 「めぐろ芸術文化振興プラン」改定案
 - 目黒区スポーツ推進計画改定案
 - 住民票の写し等の郵送請求に関する納付方法の拡大
 - 目黒区心身障害者センターあいアイ館における家族等介助入浴事業の実施

- 2月26日(木)
 - 陳情審査
 - 小児の発達に関する診療体制強化に向けた協定の締結
 - アピアランスケア支援事業の拡充
 - 健康づくり調査の実施結果
 - 旅館業法施行条例改正の考え方
 - 食品衛生法違反に伴う不利益処分
 - 産婦健康診査・1か月児健康診査助成事業実施
- 3月18日(水)
 - 議案審査
 - ダンスを活用した介護予防・フレイル予防事業における新たな取組(ウェルネス・ダンス・ベース)

◆ 都市環境委員会

- 1月14日(水)
 - 東京における都市計画道路の整備方針(案)
 - 都市計画(高度地区・地区計画)の変更(案)
 - 区立駐輪場利用料金の改定等
 - キリンビール株式会社によるサクラ基金への寄附
 - 目黒のサクラ基金のキャッシュレス募金開始等
 - 下五垵児童遊園リノベーション工事に向けた取組
 - 工事報告
 - 令和7年度目黒区エコ・チャレンジ顕彰の被顕彰者
 - 目黒区指定喫煙所の指定

- 「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例」改正骨子案(基本的考え方)のパブリックコメント実施結果及び条例改正骨子
- 2月10日(火)
 - 目黒区空家等対策に関する協定の締結
 - 中目黒駅周辺地区における公民連携まちづくりの取組
- 2月25日(水)
 - 議案審査
 - 高度地区及び地区計画の変更に関する都市計画(案)の縦覧等の結果
 - 地区計画の変更に伴う関係条例改正の考え方

- 中目黒駅北地区第一種市街地再開発事業に関する都市計画(原案)
- 目黒区いきものみどりみらい計画案
- 目黒区耐震改修促進計画改定案
- 「地域交通の支援」(東部地区)の取組状況と今後の進め方
- 目黒川水質浄化対策の取組状況
- 樹木診断結果D判定の桜への対応
- 令和8年度めぐろ衣類回収プロジェクトの取組
- 2月26日(木)
 - 陳情審査

◆ 文教・子ども委員会

- 1月14日(水)
 - 令和7年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施状況
 - ひもんや保育園・第三ひもんや保育園民営化に伴う保育園整備・運営事業者公募に係る選定結果
- 2月10日(火)
 - 令和7年度目黒区立学校・園における学校・園評価アンケートの実施結果等
 - 令和8年「二十歳のつどい」実施結果
 - 向原住区センター児童館等の運営委託事業者公募に係る選定結果

- こども誰でも通園制度の実施
- 2月25日(水)
 - 議案審査
 - 目黒区における妊産婦相談支援事業の充実
 - 令和8年度教育行政運営方針(案)
 - 就学援助・就学奨励費に係る所得限度額の算定方法の変更
 - 令和8年度区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等
 - 令和8年度自然宿泊体験教室事業の実施
 - 令和8年度学校標準給食費(案)
 - 目黒区不登校対応指針の策定(案)

- 2月26日(木)
 - 陳情審査
 - 「めぐろ学校教育プラン(令和4年度～令和8年度)」改定の進め方(案)
 - 「MEGUROスマートスクール・アクションプラン」改定の進め方(案)
 - 目黒区子ども読書活動推進計画案
 - 令和8年4月区内認可保育所等入所申込状況

議会運営委員会

- 1月13日(火)
 - 目黒区議会におけるハラスメント防止指針の運用マニュアル(たたき台)について
- 1月27日(火)
 - 令和8年第1回目黒区議会定例会区長所信表明について
 - 令和8年度組織改正について
 - 令和7年度目黒区各会計補正予算案について
 - 令和8年度目黒区各会計予算案について
 - 令和8年度区議会予定表(案)について
- 2月2日(月)
 - 議員の自動失職について
 - 令和8年第1回定例会の招集について
 - 提出予定議案について
 - 会期及び会期中の日程について
 - 議会運営委員会に提案する意見書等について
 - 代表質問・一般質問の通告期限について
 - 請願・陳情について
 - 予算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について
 - 本会議における討論通告書の提出期限について
 - サイバーセキュリティを確保するための方針(案)について
 - 令和8年度区議会予定表(案)について
 - 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について

- 目黒区議会におけるハラスメント防止指針の運用マニュアル(案)について
- 2月9日(月)
 - 陳情について
 - 代表質問・一般質問について
 - 令和8年度区議会予定表(案)について
- 2月17日(火)
 - 議事日程及び進行順序について
 - 追加提出議案について
 - 委員会開催予定について
 - 意見書等(案)について
 - 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について
 - 予算特別委員会の正副委員長の候補者について
- 2月24日(火)
 - 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)の採決方法について
 - 議事日程及び進行順序について
 - 意見書(案)に対する賛否について
 - 令和8年度都区財政調整方針について
 - 令和7年度都区財政調整再調整方針について
 - 特別区議会議長会の要望活動について
 - 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
 - 陳情審査

- 3月4日(水)
 - 意見書(案)に対する賛否について
 - 目黒区議会におけるハラスメント防止指針に基づく内部相談員の指名について
 - 主権者教育の実施について
 - 政務活動費申し合わせ事項の見直しについて
- 3月6日(金)
 - 追加提出議案について
 - 討論通告について
 - 議事日程及び進行順序について
 - 特別区議会議長会の要望活動について
 - 政務活動費に係る日程について
- 3月23日(月)
 - 追加提出議案の採決方法について
 - 討論通告について
 - 議事日程及び進行順序について
 - 改正予定の条例について
 - 特別区議会議長会の要望事項の賛否について

特別委員会

◆ 施設更新・公民連携等調査特別委員会

- 1月23日(金)
 - 下目黒小学校建替え及び複合化の進め方

- 3月2日(月)
 - 陳情審査
 - めぐる学校サポートセンター施設を活用した常設仮校舎整備に係る実施設計案

- 3月27日(金)
 - 【視察】中目黒スクエア

第1回定例会

◆議案の議決結果と各会派の賛否

各議案の詳細はこちら▶



個人名を記載した会派ごとの賛否はこちら▶



(○：賛成、×：反対)

審査した委員会	議案番号	議案名等	概要	自民	未来	公明	立目	共産	無(50音順)	結果
区長提出議案										
企総	議案第1号	目黒区手数料条例の一部を改正する条例	法改正に伴い、必要な規定の整備をするもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	目黒区付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	区立学校施設更新に係る設計等委託事業者選定委員会を区長の付属機関として設置するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	目黒区公共料金支払基金条例の一部を改正する条例	基金の額を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	目黒区行政手続条例の一部を改正する条例	法改正に伴い、聴聞の通知等に係る公示送達の方法を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号	目黒区職員定数条例の一部を改正する条例	職員の定数を改めるもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第6号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	特別区人事委員会の勧告等に伴い管理職の給料表を改定、および平成30年の給料表の切替えに伴う差額支給の取扱いを終了するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	管理職員特別勤務手当の対象時間帯を拡大するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に伴い、規定の整備をするもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	職員の旅費に関する条例	職員の旅費制度の見直し及び関係条例の規定を整備するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	目黒区長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例	特別職の旅費に包括宿泊費を追加するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	目黒区国民保護対策本部及び緊急処理事態対策本部条例の一部を改正する条例	国民保護対策本部と緊急処理事態対策本部の組織体制を見直すもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第12号	目黒区議会議員及び目黒区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	区議会議員及び区長の選挙における選挙運動に係る公費負担の限度額を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○
生福	議案第13号	目黒区立高齢者福祉住宅条例の一部を改正する条例	コーポ三田の住戸を増設するもの	○	○	○	○	○	○	○
都環	議案第14号	目黒区三田地区整備事業住宅条例の一部を改正する条例	三田地区整備事業住宅の一部住戸を廃止するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例の一部を改正する条例	区内全域での路上喫煙を禁止し、まちの環境美化を推進するもの	○	○	○	○	○	○	○
文教	議案第16号	目黒区学校教育応援基金条例	区立学校における学校教育の充実に資するための基金を新たに設置するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	目黒区文化財保護基金条例	文化財の保護と活用に資するための基金を新たに設置するもの	○	○	○	○	○	○	○
企総	議案第18号	令和7年度目黒区一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出をそれぞれ14億3,926万2千円減額し、総額を1,477億9,968万6千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
	議案第19号	令和7年度目黒区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出をそれぞれ12億1,045万2千円減額し、総額を259億9,252万8千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	令和7年度目黒区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出をそれぞれ2,756万9千円追加し、総額を84億7,204万円とするもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第21号	令和7年度目黒区介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出をそれぞれ3億807万3千円追加し、総額を234億1,746万8千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
予特	議案第22号	令和8年度目黒区一般会計予算	歳入歳出の総額を1,620億6,558万2千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
	議案第23号	令和8年度目黒区国民健康保険特別会計予算	歳入歳出の総額を267億8,031万円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
	議案第24号	令和8年度目黒区後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出の総額を91億2,875万円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
	議案第25号	令和8年度目黒区介護保険特別会計予算	歳入歳出の総額を232億9,421万3千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○
生福	議案第26号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	後期高齢者医療広域連合の規約を変更するため、関係自治体と協議を行うことについて議会の議決を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○
文教	議案第27号	目黒区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	法改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備や運営に関する基準を定めるもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第28号	目黒区特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	法改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第29号	目黒区立保育所条例の一部を改正する条例	区立保育所で乳児等通園支援事業を新たに実施するため、必要な規定を整備するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号	目黒区立幼稚園条例の一部を改正する条例	区立幼稚園で一時的預かり事業を新たに実施するため、必要な規定を整備するもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第31号	目黒区教育・保育に係る利用者負担額等を定める条例の一部を改正する条例	区立幼稚園の一時的預かり保育料の額を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○
企総	議案第32号	目黒区立目黒南中学校新築工事の請負契約		○	○	○	○	○	○	○
	議案第33号	目黒区立目黒南中学校新築に伴う機械設備工事の請負契約	目黒区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に基づくもの	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	目黒区立目黒南中学校新築に伴う電気設備工事の請負契約		○	○	○	○	○	○	○
生福	議案第35号	目黒区国民健康保険条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金に係る保険料の賦課の事項を定めるとともに、保険料率等を減額する基準額を改定するもの	○	○	○	○	×	○	×
	議案第36号	目黒区介護保険条例の一部を改正する条例	保険料率算定の所得基準を見直し、令和8年度において税制改正の影響を遮断する措置を講ずるもの	○	○	○	○	×	○	×
—	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(高橋晶子氏)	高橋晶子氏を推薦することの可否を諮問するもの	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案										
—	議案第37号	日本政府に非核三原則の堅持を求める意見書 8面		○	○	○	○	○	○	○

可決

可として
答申

◆陳情の議決結果と各会派の賛否

各陳情の詳細はこちら▶



個人名を記載した会派ごとの賛否はこちら▶



(○：賛成、×：反対、退：退席)

Table with columns: 審査した委員会, 陳情番号, 件名, 自民, 未来, 公明, 立目, 共産, 無 (50音順), 結果. Rows include items like 'ひもんや保育園民営化における行政対応の適正化を求める陳情' and '職員団体の組合費給与天引き (チェックオフ) 手続の適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情'.

撤回承認した陳情

- 陳情 7 第37号 政治活動及び選挙活動における妨害の禁止を周知する陳情
陳情 7 第14号 学習者の声を教育政策に反映させることを求める陳情
陳情 7 第13号 区民センター再開発について、他地域も含めた目黒区全体構想(グランドデザイン)を提示することを求める陳情

継続審査とした陳情

- 陳情 8 第1号 核兵器禁止条約に関する陳情
陳情 8 第5号 区議会から申し入れが行われた事務処理ミス対応に関する陳情
陳情 8 第8号 選挙運動における妨害の禁止を周知する陳情
陳情 8 第9号 「ジェノサイド条約」の批准に関する陳情
陳情 8 第10号 再審法改正促進の意見書を国会・政府に提出することを求める陳情
陳情 8 第14号 災害に対する住居支援の重要性を確認し、目黒区として、「被災及び避難の状況、避難の継続又は帰還についての意向、家族関係・健康状態・就労状況その他生活の状況、安定した住宅の確保に関する事情等の具体的な事情を総合的に考慮した災害ケースマネジメント体制の構築を求める陳情
陳情 7 第27号 目黒区の小中学校の学用品無償化をを求める陳情
陳情 7 第30号 目黒区立中学校の部活の地域移行に関する陳情
陳情 8 第11号 統合新校在籍生徒の通学負担解消のために具体的な対策を講ずることを求める陳情
陳情 7 第10号 区民センター再開発について、「目黒区美術館の保存」も含めた幅広い可能性を検討することを求める陳情
陳情 7 第11号 「新たな目黒区民センター等整備・運営事業」再検討に関する陳情
陳情 7 第16号 目黒区美術館の建物を壊すという区の方向性に反対する陳情
陳情 8 第6号 区民センター再開発について、住環境や地域社会に与える長期的影響を評価基準に加え、サステナビリティを重視する企業理念を持つ事業者を選定することを求める陳情
陳情 8 第13号 目黒区内でも今後増えるであろう公共建築の建替え及び公共用地の有効利用に際し、「今だけ金だけ自分だけ」の風潮に流されず、先ずは「目黒区都市計画グランドデザイン」を官民協働で創り上げてくださることを陳情致します。

議員の辞職

坂元悠紀議員(未来)は令和8年1月27日付で辞職しました。

意見書を提出しました

区民の皆さんの生活に関わることで、それが国や都の仕事である場合は、区だけでは解決できないことがあります。このようなとき区議会は、地方自治法第99条に基づき、国会または関係行政庁(国・都など)に対して、意見書を提出し、問題の解決を求めます。第1回定例会では1件の意見書を提出しました。

日本政府に 非核三原則の堅持を求める意見書



非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」は、昭和42年に佐藤栄作内閣総理大臣が国会において表明し、昭和46年には衆議院においてその遵守を確認する決議が可決されて以来、我が国の国是として位置付けられ、歴代内閣により一貫して堅持されてきた原則です。

我が国は、広島・長崎に原子爆弾が投下された唯一の戦争被爆国として、核兵器の非人道性を世界に訴え続けてきました。平成6年以降、国連総会において毎年核兵器廃絶決議案を提出してきたことは、その象徴であり、国際社会においても、非核三原則を堅持する我が国の姿勢は、地域及び世界の安定に一定の役割を果たしてきたものと評価されています。

さらに、令和6年には、日本原水爆被害者団体協議会が、その長年にわたる核兵器廃絶と平和を求める活動が国際社会から高く評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、被爆者の「核兵器のない世界を実現したい」という切実な訴えが、国境や世代を超えて共有されていることを示すものであり、我が国が非核三原則を堅持し続ける意義を、改めて世界に示したとも言えます。

目下、国際情勢は一層厳しさを増し、核兵器を巡る緊張も高まっています。こうした中、我が国では、安全保障関連三文書の改訂に向けた議論が与党内で進められており、非核三原則の見直しを懸念する声があります。

広島と長崎にもたらされた惨禍を二度と繰り返さぬよう被爆の実相を後世に伝え、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の重要な使命です。だからこそ、非核三原則は、我が国の安全保障政策の根幹として、今後も確実に堅持されるべきです。

目黒区は、戦火に包まれた悲しい歴史を鑑みて、昭和60年5月3日「目黒区平和都市宣言」を発表し、「地球のすべての人びととともに永遠の平和を築くよう努力する。この誓いをこめて平和憲法を擁護し、核兵器のない平和都市であることを宣言」しています。

以上を踏まえ、目黒区議会は、国会及び政府に対し、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いを真摯に受け止め、非核三原則を今後も堅持することを強く要請します。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣 宛て

請願・陳情の受け付け

請願・陳情とは、区政に関することなどを、区議会に直接要望できる制度です。請願には区議会議員の紹介が必要です。目黒区議会では、議員の紹介のない陳情も請願と同様に扱います。

◆受け付け方法◆

令和8年第2回定例会での審査を希望するかたは、締め切り日までに区議会事務局へ請願・陳情書を持参してください。郵送によるものは原則審査を行いません。

令和8年第2回定例会への請願・陳情締め切り日：6月8日(月)正午

※締め切り日以降に提出されたものは、次の本会議で審議します。



行政視察報告 施設更新・公民連携等調査特別委員会(令和7年12月23日・24日)



報告書はこちら▶

Table with columns: 視察先, 視察項目, 内容. Rows include '富山県氷見市' (regarding school renovation) and '富山県' (regarding citizen cooperation).



▲第一体育館(役所棟)と第二体育館(議会棟)をつなぐエントランスを新設した市庁舎

▶旧学校校舎の廊下を活用し、黒板など既存の設備を生かした庁舎内空間



(いずれも富山県氷見市)

目黒区議会からの情報を発信中!

区議会ウェブサイト



目黒区議会 議会中継



区議会だより 音声版



区公式X (IBTwitter)



区LINE公式 広報メニュー 区議会だより



めぐろ区議会だよりデジタル版をCDでお送りします。詳細は、障害者支援課(☎5722-9846、FAX3715-4424)へお問い合わせください。



再生紙を使用しています

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



環境にやさしい 植物油インキを使用しています



見やすく読み間違えにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています